



バスの車窓から被災地域を望む。窓は全て開け放たれ、家屋の乾燥が続く。田は稲に代わって雑草が伸びる。



ミニサテライトのコーディネート担当は奈良県の社協職員でした。



被災家屋の一例、もし、自分の家がこんなことになったら、片付けようという気持ちになることができるだろうか。

以下、レポート詳報

1 班（植村班）ヤングチーム

リーダー：植村 タイムキーパー：八幡領

メンバー：大坂間、堀内、村山、大川

2日間とも同じ家屋で壁はがし、泥出し、高圧洗浄、窓や柱などの拭き掃除。

脚立や梯子での作業中に発生した怪我は保険の補償対象外とのことであったが、家主さんの要望に応えずにはいられず、志願2名により高所の土壁の搔き落としをおこなう。

同じ家屋で作業した他のボランティア団体との交流も図る。飴を分け合う。

家主さんとも会話し、被災当時の話を聞いた。

高圧洗浄の活躍もあったが、雑巾での拭き掃除は一度拭いても乾くとまた土汚れが残っているようで、同じところを何度も拭かなければならない気がする。

休憩は敷地内の屋根付きの物置場所でくつろぐ。上を見ると蛍光灯の一つに吊り金具が外れていることに気づく。3メートルぐらいの高所であったが、梯子をお借りして金具取付もサービス。

2日目には、学生のボランティア団体が合流したが、見ていて危なっかしい。安全に対する配慮が足りないと感じる。一言二言助言したが、我々は引き上げる時刻になったため、心配ではあったが学生を残してその場を去ることになった。

2 班（早稲田班）精鋭チーム

リーダー：早稲田 タイムキーパー：松田（恵）

メンバー：池戸、八木沢、中谷

15日（土）AMは末田班と同現場で家財搬出作業

15日PMと16日は土壁落とし作業

3 班（末田班）中堅・軟弱チーム

リーダー：末田 タイムキーパー：北村

メンバー：杉村、村山、勝川、大北、板谷、杵島、末田（和）、松田（由）

解体予定の家から家財一式搬出作業

9月15日（土）新田ミニサテライトから徒歩で現場へ移動。

15日午前中は早稲田班と15名で家財搬出作業。

午後から末田班10名で、まず一階の家財を搬出。

すべて処分の指示が出ていたが、現金硬貨とアルバムがあったので作業終了後にサテライトに届けた。

搬出の軽トラック 3 台が次から次へと来たので、搬出と積み込みが非常に忙しく、大変な作業となった。

庭も含めて家財が多く、10 名で二日間の作業が残るとサテライトへ報告。

9 月 16 日（日）末田班 10 名は昨日と同じ現場の続き。

2 階の家財を降ろすところから始めた。

今日は逆に搬出の軽トラックが 1 台で、二階からの下ろしもあったので、時間配分はちょうど良かったが、お昼前に若い一般ボランティア 10 名が合流して、庭も含めて一気に作業が捗った。来るのがわかっていたら 2 階を残しておいたのだが・・・。

今度はトラックが足りなくて、家の前に家財が山積みになり、サテライトへトラック増車の依頼。

午後からトラック増車で、すべての家財の搬出を終了した。

暑い中、軟弱チームは昨日の疲れも残って大変だったが、若いボランティアの合流で無事完了。この家担当の民生委員さんも来られて喜んでいただいた。